

平成28年第12回定例教育委員会

平成28年12月27日（火）午後2時30分

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月田健二	説明員	教育部次長	萬直樹
	委員	支部英孝		学校教育支援室長	
	委員	郷早見			伊藤忠信
	委員	橋本幸子		総務課長	山崎正樹
	委員	林大輔		総務課主幹	松崎英明
				学校教育課長	廣田修
				教育支援課長	浦田和秀
				給食センター長	内藤信治
				対雁調理場長	鈴木正春
				生涯学習課長	佐々木倫子
				スポーツ課長	三浦洋博
				情報図書館長	山岸智幸
				郷土資料館長	櫛田一志
				郷土資料館主幹	兼平志司
			欠席者	教育部長	渡部丈崇
			記録員	総務課総務係長	星野崇志
			傍聴者	1名	

1 報告事項

- (1) 平成28年第4回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 平成27年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書について
- (3) 平成27年度江別市社会教育総合計画（第8期）推進状況報告書について
- (4) 平成27年度江別市スポーツ推進計画（第5期）推進状況報告書について
- (5) 平成28年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について
- (6) 新入学生徒学用品費等に係る支給時期の前倒しについて
- (7) 平成28年度学校選択制に関する検証結果報告書について
- (8) 平成29年度学校選択制にかかる申請状況について
- (9) 平成29年江別市成人のつどいの開催について
- (10) 平成28年度小中学生国内交流研修事業受入について

2 審議事項

- (1) 平成28年議案第46号
職員の処分について
- (2) 平成28年議案第47号
江別市立学校における学校運営委員会の設置等に関する規則について
- (3) 平成28年議案第48号
平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について
- (4) 平成28年議案第49号
平成29年度江別市一般会計教育予算要求案について
- (5) 平成28年議案第50号
平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載同意について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 平成29年第1回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長

(開会)

それでは、ただいまから、「平成28年第12回定例教育委員会」を開会いたします。
 本日の議事日程は配付のとおりであります。
 会議に先立ち、本日の会議録署名人を郷委員にお願いいたします。
 議事に入ります前にお諮りしたい事項があります。
 議案第46号「職員の処分について」は、人事案件でありますことから、秘密会による審議を提案するものです。これにご異議ありませんか。

(一同了承)

委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第46号は秘密会により進行いたします。
 本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩いたします。
 その後、配付の会議次第にしたがいまして進行いたします。

<秘密会につき、会議録省略>

委員会を再開いたします。議事に入ります。

1の報告事項(1)「平成28年第4回江別市議会定例会の一般質問について」の報告を求めます。萬教育部次長お願いいたします。

萬教育部次長

平成28年第4回江別市議会定例会の一般質問についてご報告いたします。
 教育委員会関係分は、12月7日から9日までの3日間に、4名の議員から一般質問がありました。

はじめに、山本議員から、電子メディアと薬物乱用とのかかわりについて、他1件の質問があり、答弁であります。電子メディアと薬物乱用とのかかわりについては、引き続きリーフレット等の啓発資料の配付、専門的な知識を有する方による講習会の開催、情報モラルの定着と薬物乱用防止の教育を実施し、青少年の健全育成に努めたいと答えております。

萬教育部次長

また、小学校、中学校、高校の合同音楽会については、演奏する児童・生徒の励みにもなることから、演奏会開催の市民PRに配慮していくほか、地域イベントへの参加や学校施設の積極的な活用などについても、各方面に働きかけたいと考えており、今後も、発表の場拡大事業制度の周知、活用の促進を図り、市民が鑑賞できる発表の場づくりを積極的に支援したいと答えております。

次に、高橋議員からは、障がいがあっても住みやすいまちづくりについての質問があり、答弁であります。公共施設のバリアフリー化については、これまでも、公共施設等のスロープや自動ドア、エレベーター、多目的トイレなどの整備を、順次、進めてきたところであり、引き続き施設の点検を進める中で、速やかに改善していくほか、大規模な改修が必要な箇所は、今後の整備計画の中で、福祉や建築などの関係部署と連携を図りながら、バリアフリー化を進めていきたいと答えております。

また、障がい者スポーツの振興については、障がい者スポーツを広く市民に紹介し、その魅力や楽しさを、再認識していただくとともに、障がいの有無に関わらず、あらゆる市民が多様なスポーツに取り組める環境づくりを進めていきたいと答えております。

次に、齋藤一議員からは、学校給食費についての質問があり、答弁であります。給食費の無償化についての市長の考え方については、学校給食法第11条第1項に基づき、給食の食材費については、従来どおり保護者が負担すべきものと考えているところであり、生活保護世帯や経済的理由により就学の援助が必要な世帯に対しては、これまでも給食費の全額を支給してきたと答えております。

また、江別市の学校給食費の現状については、当市では、学校給食会による私会計を採用し、現在の当市の学校給食の1食あたりの単価は、いずれの学年も全道平均額を30円程度上回っているが、新鮮な地元食材を積極的に使用するなど、安全・安心でおいしく栄養バランスに優れた給食を提供していること、給食費の収納率は、小中学校の合計で、収納率98.32パーセントとなっているが、保護者間で不公平感が生じないよう、収納率向上に向けた学校給食会の取り組みを支援していきたいと答えております。

次に、相馬議員から、遠距離通学送迎事業について、他1件の質問があり、答弁であり

<p>月田教育長 支部委員</p>	<p>ますが、遠距離通学送迎事業については、今後においても、安定的に児童生徒の通学手段を確保していかなければならないと考えていることから、適正な運行経費の確保に努め、遠距離通学送迎事業を継続したいと考えていること、豊幌地区から住民混乗の具体的な要望があった場合には、課題等を整理しながら検討していきたいと答えております。</p> <p>また、教職員住宅施策については、施設の老朽化や入居率の低迷等、様々な課題があるものと認識しており、市内の民間アパートなどの状況を考慮しながら、教職員住宅の在り方については、統廃合・廃止を含め、抜本的な見直しを進めていくこと、また、管理住宅の在り方についても、学校隣接居住の必要性は薄れてきていることから、校長会などの各関係機関と相談しながら、抜本的な見直しを進めていくと答えております。以上です。</p> <p>ただいま報告のありました「平成28年第4回江別市議会定例会の一般質問について」、質問等がございましたらお受けいたします。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>私から一点、5ページにあります4の小中学校、中学校、高校の合同音楽会についてでありますけれども、上から6行目に、一堂に会した形で演奏会を開催することは難しいと伺っております、と書いてございます。演奏会全部に出席した訳ではありませんが、市民会館の大きなホールで開催された演奏会に出席した際、参加者は200人か300人程度でしたが、聴衆が非常に少ないというイメージを持ちました。もし、これが合同で開催し、小中学校や中学校あるいは高校の父兄など、関係者が一堂に会するような形がもし可能であれば、聴衆も増えるのではないかと思います。それによって、演奏する小・中学生、高校生の励みになるのではないかと思いますところがございます、ここには難しいと伺っていると書いてございますけれども、何か工夫できないかと思っております。質問というか希望というか、そのような思いで演奏会を観させていただいた感想であります。私からは以上です。</p>
<p>月田教育長 支部委員</p>	<p>今の質問について私の方からお話しします。実は吹奏楽等の発表会は、各学校がそれぞれ楽器を持ってきます。楽器の中には、ものすごく大きなものもたくさんありまして、置き場所がほとんどない状態になっています。</p> <p>また、いつも使用しているものと違う楽器で演奏するのは不可能なようで、貸切バスなどを利用し楽器を持ってくるため、学校1校であれば、バス1台くらいで来られますが、それぞれの学校でバスを利用すると、ものすごい状態になるため、物理的に不可能ではないかという状態になっているところですよ。</p>
<p>月田教育長 橋本委員</p>	<p>その物理的というか、もっとレベルの高い全道大会や全国大会などでは、当然そういうことを行っております。やはり演奏するということは聴いていただきたい、あるいは発表したい、自分達を見てもらいたいという子どもたちの思いを遂げさせてあげたいという気持ちがありまして、今の発言になったところでありまして。いろいろ物理的に難しい面もあるうかとは思いましたが、敢えて発言させていただきました。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>ほかにございますか。</p> <p>確認ですけれども、山本議員の質問の(3)、(4)のところ、市内小中学校におけるとなるところと、市内小学校におけるとなるところがあります。</p> <p>答弁されている内容は、小学校のことだけをお答えいただいているような感じですが、これは小学校だけのことを質問されているのでしょうか。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>3ページの上のところは、市内小学校におけると記載しておりますが、4ページの(3)、(4)は、小学校とすべきところを小中学校と記載しておりました。1ページも同じように誤っております。申し訳ございません。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
<p>伊藤学校教育支援室長</p>	<p>次に報告事項(2)「平成27年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書について」の報告を求めます。伊藤学校教育支援室長お願いいたします。</p> <p>報告事項(2)平成27年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書についてご説明いたします。</p> <p>江別市学校教育基本計画は、第6次江別市総合計画の個別計画と位置づけ、平成26年度から平成30年度までの5年間の学校教育における目標や施策の方向性を示すため、平成25年度に策定いたしました。</p>

本計画では、第5章計画の推進にあたってに記載されているとおり、実効性を確保し、より効果的に施策を推進するためにPDCAサイクルの考え方に基づいて、点検・評価を行い、その結果については公表し、着実に計画を進めることとしていることから、平成27年度における成果指標の結果と今後の推進の方向性について、ご報告するものであります。報告する内容につきましては、赤枠で囲まれた部分でございます。

資料の1ページ、上から6段目「基本目標1：確かな学力を育成する教育の推進」であります。成果指標1-①の学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合と1-②職場体験を通して、自分の進路や将来の生き方を考えるきっかけとなった生徒の割合は現状値より増加いたしました。1-③通常学級に在籍し、学習や行動面で困難を示す児童生徒の個別の教育支援計画を作成している学校の割合は現状値との比較では減少しておりますが、昨年度の値よりも増加しております。

今後の推進の方向性であります。引き続き組織的に学力向上に取り組む学校体制づくりや基礎学力の確実な定着を図る授業改善、補充的な学習への支援を行うほか、今年度から導入したデジタル教科書等ICT機器の積極的な活用を図るとともに、個別の教育支援計画作成を推進するために、学校全体で児童生徒を支援する校内体制の充実と教員の専門性の向上を図ってまいります。

2ページをお開きください。「基本目標2：豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進」であります。成果指標2-①自分には、良いところがあると思う児童生徒の割合、2-②スポーツに親しんでいる児童生徒の割合、2-③朝食を食べて学校に通う児童生徒の割合はいずれも増加となっております。

推進の方向性であります。今後におきましても、道徳教育の推進や体験活動の充実、走り方教室の継続実施による体力向上や食育の取り組みを推進してまいります。

次に、「基本目標3：良好な教育環境の整備」であります。3ページをお開きください。成果指標3-①市立小中学校における耐震化率は、平成27年度に江別太小学校と江別第一中学校の改築校舎が完成したことから現状値より増加しております。

推進の方向性であります。平成28年度には統合校である江別第一小学校の新校舎が完成しており、平成28年度末には耐震化率が100パーセントとなります。

次に、「基本目標4：家庭や地域に開かれた学校づくりの推進」であります。成果指標4-①学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合は現状値より増加し、4-②教職員の夏期・冬期セミナーの参加率は減少となっております。4-②のセミナー参加率が減少したのは、江別太小学校と江別第一中学校の新校舎への引っ越しが夏休みとなったため、夏期セミナーに参加できなかったことによるものであります。

推進の方向性であります。今後も、学校一斉公開や学校支援地域本部事業など各事業を推進し、学校と家庭・地域が連携していく取り組みを進めてまいります。また、教職員の資質能力の向上を図るため、引き続き教職員セミナー等の研修を計画的に実施するとともに、より実践的かつ効果的な研修となるよう研修内容の充実を図ってまいります。

最後に、本日、報告した内容につきましては、江別市のホームページにおいて公表いたします。以上です。

ただいま報告のありました「平成27年度江別市学校教育基本計画推進状況報告書について」、質問等がありましたらお受けいたします。

(質疑なし)

それでは本報告について終了いたします。

(一同了承)

次に、報告事項(3)「平成27年度江別市社会教育総合計画(第8期)推進状況報告書について」の報告を求めます。佐々木生涯学習課長お願いいたします。

報告事項(3)平成27年度江別市社会教育総合計画(第8期)推進状況報告書につきまして、ご説明いたします。

江別市社会教育総合計画は、計画期間を平成26年度から平成30年度までの5年間とし、社会教育行政の指針とするため策定しました。

本計画の推進には、各施策の状況等について、点検・評価を行い計画に反映させていくこととしておりますので、平成27年度における成果指標の結果と今後の推進の方向性について、ご報告いたします。

資料の1ページをご覧ください。

月田教育長

佐々木生涯学習課長

	<p>基本目標Ⅰであります。1家庭の教育力の向上では、成果指標1-①は、増加しています。1-②は、減少しています。</p> <p>2地域の教育力の向上では、成果指標2-①は増加しています。</p> <p>3子どもの可能性を引き出す教育の実践では、成果指標3-①については、26、27年度の調査が行われなかったため、数値が取れず空白としています。なお、今年度11月に調査を行い、現在結果を取りまとめているところでございます。次の成果指標3-②は増加しています。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>4子どもを取り巻く安全安心な環境づくりでは、成果指標4-①、②ともに増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。学校や社会教育施設は、地域住民のニーズを把握し、学習の機会を提供できる地域学習の拠点であり、子どもを育てる環境を充実させるため、今後も施設の活用を図り、地域の団体活動の活性化に努めていきます。</p> <p>資料の3ページをご覧ください。</p> <p>基本目標Ⅱであります。1生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりでは、成果指標1-①、②、③ともに減少しています。</p> <p>2市民が行う生涯学習活動への支援では、成果指標2-①は減少しています。</p> <p>3協働・連携による生涯学習の推進では、成果指標3-①、②ともに増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。生涯学習の機会・施設・情報が充実していると思う市民割合はいずれも低下する結果となりました。趣味の活動を行う市民を増やすことや、生涯学習の機会や場について多くの市民に知っていただくため、より積極的な情報提供に努めていきます。</p> <p>資料の4ページをご覧ください。</p> <p>基本目標Ⅲであります。1市民の文化・芸術活動への支援では、成果指標1-①は増加しています。</p> <p>2文化施設の活用促進では、成果指標2-①は、減少しています。</p> <p>3文化遺産の保存と活用では、成果指標3-①、②ともに増加しています。</p> <p>4芸術活動の推進では、成果指標4-①は増加しています。</p> <p>今後の推進の方向性であります。江別の文化や歴史に触れる機会について、市民に知っていただくための事業の実施と積極的なPRに努めていきます。</p> <p>以上が報告書の概要であります。</p> <p>本日、報告した内容につきましては、江別市のホームページにおいて公表いたします。以上です。</p> <p>ただいま報告のありました「平成27年度江別市社会教育総合計画（第8期）推進状況報告書について」、質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>2ページの子どもを取り巻く安全安心な環境づくりというところの子育て環境が充実していると思う保護者の割合ですが、43.2パーセントという数値は、去年よりは向上しているとはいえ、あまり高くない数値です。これは、子育て広場だとか、地域と連携を取るいろいろな体験活動だとか、そういうことに限っての子育て環境ということなのでしょうか。保育園が充実しているとか、幼児の病院費用が掛かるとか掛からないとか、そういうことも含めて子育て環境が充実していると思うか否かということなのでしょうか。</p> <p>こちらは毎年行っている市民アンケートの結果によるものでして、個別具体的な事業をアンケートの中で説明してはおりませんので、書かれている方の考え方によって、子育て環境をどのように捉えるかは、いま質問にあったように狭く考えられるのか、広く施設のことまで考えられるのかということは、それぞれの考え方によります。こちらから同じ事業という提案はしてありません。</p> <p>どちらかという、広く子育て全般についてそう思っている方の割合ということですね。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>前年度もこのアンケートに関しては、どのような形でアンケートを出されているのかという質問をさせていただきました。その際、確か企画政策部でランダムに選んだ市民の皆さんへアンケートを出し、回答いただいた結果を教育委員会の内容に関しての数値として使用していると聞いておりますが、もう少し、聞きたいところを的確に質問するといいの</p>
月田教育長	
林委員	
佐々木生涯学習課長	
林委員	
月田教育長 郷委員	

	<p>ではないかと、ここ数年感じております。</p> <p>子育ての環境が充実していると思う保護者の割合ということですが、回答者によって、子育て環境が充実していると思っている内容が違うというアンケートでは、その結果は分かりにくいものになるのではないかとあります。先ほどの学校教育の方に関しては、およその成果だとかアンケートの内容に関して回答が出しやすいのかとは思いますが、どうしても、こういったことに関しては、もう少しアンケート内容を改善していった方が、こういったところが不足していて、こういったところが充実しているのかが分かりやすくなるかという気がします。</p> <p>そのほかに一点質問ですが、地域子育てサービスの利用者数というのは、ぽこあぽこに限らずということでしょうか。</p> <p>こちらは、ぽこあぽこ以外の子育てサービスを含みます。</p>
<p>佐々木生涯学習課長 月田教育長 橋本委員</p>	<p>ほかにございますか。</p> <p>3ページの生涯学習の機会が充実している、施設が充実している、情報が充実していると思う市民の割合が、ほかと比べて下がっていている気がします。逆を返せば、やりたいとか、学びたいと思う人たちが増えているという気がしますので、それに追いつかないぐらい高齢者が増えているのですが、今、力がある方々の意欲を満たすような方向に持っていけるように考えていただければと思います。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ほかにございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に報告事項(4)「平成27年度江別市スポーツ推進計画(第5期)推進状況報告書について」の報告を求めます。三浦スポーツ課長お願いいたします。</p>
<p>三浦スポーツ課長</p>	<p>報告事項(4)平成27年度江別市スポーツ推進計画推進状況報告書につきまして、ご説明いたします。</p> <p>第5期江別市スポーツ推進計画は、計画期間を平成26年度から平成30年度までの5年間とし、誰もが健康で心豊かな生活を送ることができる生涯スポーツの実現を目指すために策定しました。</p> <p>本計画の推進には、各施策の実施状況や達成状況、効果・課題について、点検・評価を行い、計画に反映させることとしているので、平成27年度における成果指標の結果と今後の推進の方向性について、ご報告いたします。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。報告する内容につきましては、赤枠で囲まれた部分でございます。</p> <p>基本目標Ⅰ生涯スポーツの推進であります。各スポーツ教室のメニューの見直しを行ったことにより利用者は増加し、学校開放事業は、各団体の会員の減少により利用者数は減少傾向ですが、利用団体は横ばいであり、各団体の活動は、活発な状態が維持されております。</p> <p>週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は37.8パーセントですが、年代別にみるとバラつきがあり、50代以下の成人でスポーツをする割合が低い状況です。</p> <p>今後の推進の方向性ですが、仕事や育児などでスポーツをする時間がなかなかとれないなど、各年代によりニーズが異なるため、より多くの市民がスポーツ活動できるよう、市民ニーズを把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めてまいります。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。</p> <p>基本目標Ⅱ地域スポーツ活動の推進であります。各スポーツ団体は、少子高齢化の影響を受け会員数は、伸び悩んでいる状況ですが、それぞれの団体は活発に活動しており、全道・全国大会でも多くの選手が活躍しております。</p> <p>スポーツ機会が充足していると思う市民割合は57.6パーセントと減少していますが、年代別で見ると若年層の方が充足していると感じている割合が高くなっています。</p> <p>今後の推進の方向性ですが、体育協会などに対し、指導者育成等の支援を継続し、スポーツ・健康づくりの活動機会に関する情報提供や相談体制の充実にも努め、スポーツを通じた健康寿命の延伸を図ってまいります。</p> <p>基本目標Ⅲスポーツ環境の整備・充実であります。平成27年度は、大麻体育館第一</p>

<p>月田教育長 郷委員</p>	<p>体育室の耐震改修実施設計委託等を実施し、施設の環境整備を行いました。市内の屋内体育施設は、建築から30年以上経過し、老朽化対策が課題となっており、順次改修整備を進めておりますが、スポーツ施設整備の満足度は、低下し56.6パーセントとなりました。</p> <p>今後の推進の方向性ですが、大麻体育館の耐震化、長寿命化を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めてまいります。</p> <p>最後に、本日、報告した内容につきましては、江別市のホームページにおいて公表いたします。以上です。</p> <p>ただいま報告に質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>一点伺いたいことがあります。総合型地域スポーツクラブというのは、江別市内にあるのでしょうか。また、どういったものなのでしょうか。</p>
<p>三浦スポーツ 課長</p>	<p>江別市内の総合型地域スポーツクラブは3つありまして、北翔大学にあるスポーツクラブ、文京台地区にあるわくわくピース、東野幌にあるE-KIDSという団体があります。子ども向けのダンス教室です。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ほかにございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>それでは、次に報告事項(5)「平成28年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について」の報告を求めます。山崎総務課長お願いします。</p> <p>報告事項(5)平成28年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果についてご報告いたします。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。</p> <p>平成28年度の第2回学校一斉公開は、去る10月19日に実施しております。</p> <p>見学者は、私立の立命館慶祥中学校を含む、市内の全小中学校27校において、延べ1,346人で、昨年度同時期の見学者数1,226人から120人増加してございます。</p> <p>また、アンケートの回答者数は583人で、見学者の43パーセントにあたり、昨年度同時期の回答者数より30人減少してございます。</p> <p>次に、アンケートの集計結果の概要について、申し上げます。</p> <p>問1では、学校に自分の家族がいる人の割合が、小中学校全体で57パーセントと、昨年度同時期の51パーセントから増加しております。</p> <p>問2では、学校一斉公開に来たのが初めてという人の割合が、小中学校全体で昨年度同時期とほぼ同じであり、問3では、ほかの学校も見学するという人の割合が、小学校34パーセント、中学校69パーセントと、複数の学校を見学する割合が減少しております。</p> <p>2ページ目をご覧ください。</p> <p>問4では、学校一斉公開を今後も必要と考える人の割合が98パーセント、問5では、機会があれば今後も学校に来たいと思う人の割合が99パーセントにのぼっており、それぞれ、ほぼ100パーセントに近い数値となっております。</p> <p>問6では、学校は地域に開かれていると思う人の割合が、小学校では微減、中学校では微増となっております。</p> <p>3ページ目をご覧ください。</p> <p>問7では、学校行事などに協力したいと思う人の割合は、小学校では微増しておりますが、中学校では、昨年同時期とほぼ同じとなっております。</p> <p>問8の見学した学校の印象及び問9の児童・生徒の様子については、それぞれ大変よいとよいを足した割合が増加し、概ね9割の方が大変よい、よいと回答しております。また、自由記載欄でも、落ち着いた授業を受けているや挨拶がすばらしいなど、好印象の意見が多くありました。</p> <p>なお、その他の内容については、4ページから8ページにかけて、学校の印象、児童・生徒の様子のほか、江別市の教育等に関する意見や感想などを掲載しておりますので、こちらにつきましてもご参照いただきたいと思います。以上であります。</p>
<p>月田教育長 林委員</p>	<p>ただいまの報告について、質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>アンケートの内容を見させていただきましたが、自由記載の中で一点だけ、4ページその他のところで、一斉公開日の時に給食が廊下に出しっぱなしだけれどどうなんですか、</p>

山崎総務課長	<p>みたい意見があったと思いますが、確かにという感じもあると思います。今、このご時世で、その中に何か混入されるという危険性もあるし、なかなか廊下に行って、公開で来た人の状況等を見守るといことも難しいと思いますので、私は少し工夫した方がいいかと感じました。</p> <p>あと、学校行事に協力したいという方が、小学校で9割近く、中学校では8割いるということで、これからコミュニティ・スクールを始めるという中でありがたいことだと思います。以上です。</p> <p>前段の給食のことですけれども、こちらでも確認させていただきました。廊下の給食に関しましては、給食時間に間に合うように搬入するため、4時間目の途中となり、廊下に準備する形になっています。給食時間になったら、教室の中に入れるので、その前準備として廊下にある状態です。</p> <p>教室の広さ等もあるものですから、通常そのとおりにやっていますが、学校一斉公開の時にはということもありますが、物理的にはその場所を教室内に確保することは非常に難しいとお聞きしております。以上であります。</p>
林委員	<p>白い布を掛けるなど、何か対応はできるのではないかとと思うので、検討していただければと思います。</p>
内藤給食センター長	<p>山崎課長の説明と重複しますが、現状では、給食時間に間に合うよう、クラス前の廊下の配膳台に乗せて準備をしている状況です。それぞれ蓋等をしてありますが、学校一斉公開の時だけは、クロスを掛けるということも検討していこうとは思っています。</p>
月田教育長	<p>年2回ある学校一斉公開の時の対応については、今後検討ということで押さえていきたいと思っております。すぐには対応できないかもしれませんが、それぞれの学校でやはり何らかの対策をしなければならぬかと思っております。</p>
支部委員	<p>ほかにございますか。</p> <p>アンケート全体を見て感じたことですけれども、他地域から転入されてきたあるいは、転校されてきた父兄の方がアンケートに答えているような書き方が結構あるように思いました。こちらの学校は挨拶が良くできているなど、そういうことを感じるような文脈の回答が、ここ2、3年増えてきているように思っております。これは、現場の先生方が日々努力された結果として、子どもたちがこういう現状になったと思っております、非常に良いことであり、選ばれる学校作りができているということで、嬉しく思っておりますこのアンケートを拝見させてもらいました。何か機会がありましたら、こういう意見もあったということ伝えてもらえればと思うところであります。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>1つ質問いいですか。</p>
萬教育部次長	<p>放課後児童会の利用料が高い、札幌市は無料なのだという意見がありましたが、札幌市は無料なのですか。</p> <p>放課後児童クラブは、教育部の所管ではないものですから、具体的に他市の状況がどうかという情報も今、持っておりませんのでわかりません。</p>
月田教育長	<p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
廣田学校教育課長	<p>次に報告事項(6)「新入学生徒学用品費等に係る支給時期の前倒しについて」の報告を求めます。廣田学校教育課長お願いいたします。</p> <p>報告事項(6)「新入学生徒学用品費等に係る支給時期の前倒しについて」ご説明いたします。</p> <p>教育扶助費の新入学生徒学用品費等、いわゆる入学準備金と呼ばれるものでありますが、現在、中学1年生の保護者に対し、入学後の6月に支給しております。</p> <p>対象者は制服等の購入時に購入経費を一時的に負担しているのが現状であります、これを小学校6年生の保護者に対象を変更し、支給時期を入学前に前倒しすることにより、対象者の金銭的負担の解消を図るものであります。</p> <p>資料の3の本取扱いの実施年度及び財源ですが、次の新1年生となります平成29年度新入学生徒分から実施することとし、実施に必要な財源については、今年度の小学校教育扶助費の不用額にて対応いたします。</p> <p>4の支給額については、2万3,600円で現行の支給額と同額です。</p>

<p>月田教育長 橋本委員</p>	<p>5の支給日ですが、3月1日に支給いたします。3月以降の認定者については、随時に支給を行い、4月の認定者につきましては6月に支給いたします。</p> <p>6の支給前倒しに伴う影響額ですが、436万6,000円で185人の方を対象と見込んでいます。</p> <p>7のその他ですが、小学1年生に対する新入学児童学用品費等につきましては、現行通りの取扱いを考えております。以上です。</p> <p>ただいまの報告に質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>大変すばらしいことだと思いましたが、制服等と書いているので、制服に関して言うと3月1日ではなく、もう少し前に支給していただいた方が、保護者は助かるのではないかと思うのですが、それは難しいでしょうか。</p>
<p>廣田学校教育課長 郷委員</p>	<p>確かに2月の早い段階で買われる方もいらっしゃいますが、事務手続き等いろいろ含めた中で、少しでも早くといった時に、3月に決めさせていただいたところでございます。</p> <p>今、事務的な手続き等もあり、3月1日が支給日という話でしたが、例えば、30年度に支給日の見直しをし、支給日を1月、2月にすることは可能でしょうか。</p>
<p>廣田学校教育課長 橋本委員</p>	<p>それにつきましては、運用していく中で、不都合な部分などを検討した上で対応していきたいと考えています。</p> <p>何をこだわっているのかというと、卒業式に進学する中学校の制服を着る方が多く、ほとんど着ています。</p> <p>卒業式を考えると、3月1日にお金をいただいても間に合わないのもう少し早かったらいいのにお話させていただきました。ご検討いただければと思います。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>3月1日とお話させていただきましたけれども、市役所の中では、生活保護に対しても準備できるような形で支給しております。こちらにつきましても、3月1日に支給しているものですから、それに揃え3月1日に決めさせていただいた経緯がございます。</p>
<p>伊藤学校教育支援室長</p>	<p>内部の検討の中では、今のような意見も多々あり、どのようにするか検討しました。</p> <p>それで、課長が言ったように、他の支給の実態を調べた時に、生活保護が3月1日ということで、今回初めて実施するものですから、2月1日、1月1日が良いのではないかと議論はありますが、まず生活保護に合わせてやってみようということで考えたところであります。今後やっていく中でいろいろな苦情があれば、検討していきたいと思っております。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>請求につきましては、3月10日前後の卒業式で着られる生徒も多いと思っておりますが、数年前に調べた時には、学校でかなりばらつきがございます。古くからある学校では進学する中学校の制服を着ている生徒が多いですけれども、比較的、最近分離してできた学校については、男子も女子も、女子はほとんど制服にこだわらない形が多くなっております。男子は、比較的、学生服が多い現状であります。</p> <p>保護者等の意見を聞きながら、今後対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>次に報告事項(7)「平成28年度学校選択制に関する検証結果報告書について」の報告を求めます。廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>報告事項(7)平成28年度学校選択制に係る検証結果報告書について、ご説明いたします。</p> <p>検証結果報告につきましては、平成16年2月に江別市立小学校及び中学校通学区域審議会から出された答申の中におきまして、原則として、3年毎に検証を行い、検証に基づき必要な見直しを行う必要があると考えますとされていることから、実施しているものであります。</p> <p>資料検証結果報告書の6ページをお開きください。</p> <p>(2)の検証の方法であります。大きく分けて4つのアンケートを実施いたしました。</p> <p>まず、①として、平成26年度から平成28年度の3年間に学校選択制により入学した児童生徒の保護者に対するアンケートを実施いたしました。</p> <p>次に7ページをご覧ください。</p> <p>②として、平成23年度以降に、学校選択制を利用せずに指定校へ入学した、現在小学1年生から中学3年生の児童生徒の保護者8,253人のうち、1,000人を無作為に</p>

抽出し、学校選択制についての考え方などをアンケート調査いたしました。

次に、③として、今後小学校に入学予定の子を持つ保護者4,730人のうち、500人を無作為に抽出し、アンケート調査を行いました。

最後に④として、市内の小中学校長に対して、教職員等の考え方なども含めて、学校選択制に対する意見などを記述式によりアンケート調査を行ったところです。

次に8ページをお開きください。

アンケート調査結果についてですが、時間的に全てを紹介することができませんので、要点を絞って説明させていただきます。

まず、(1)平成26から28年度学校選択制により入学した児童生徒の保護者アンケート結果についてご説明いたします。報告書では、質問項目の内、主なものを記載しております。

問2現在の学校選択制(隣接校方式)についてどう思いますかという問いに対して、このままでよいと回答した方が最も多く、3か年平均で76パーセントとなりました。これは前回調査時の73パーセントとほぼ同じ割合でした。

次に、11ページをお開きください。

問13学校を選択し、現在の学校に入学した結果、どのように感じていますかという問いに対して、上のグラフが保護者、下のグラフが児童生徒になりますが、どちらもほとんどの方が満足していると回答しております。

次に12ページをお開きください。

(2)平成23年度以降に選択制を利用せずに入学した児童生徒の保護者に対するアンケート結果についてご説明いたします。

まず、問5選択できる学校の範囲として隣接校方式をどう思いますかという問いに対して、今のままでいいと回答した方が小中ともに最も多く、小学校で69.5パーセント、中学校で60.1パーセントとなっています。

市内全ての学校を選べた方がいいと回答した方は、小学校で27.9パーセント、中学校で33.3パーセントでした。小中ともに隣接校方式を支持する意見が、市内全域制を望む意見を大きく上回りました。

次に、13ページをご覧ください。

問9現在、選択できる学年は、入学する新1年生のみとしていますが、どう思いますかという問いに対して、今のままでいいと回答した方が小中ともに最も多く、小学校で54.2パーセント、中学校で60.0パーセントでした。ほかの学年でも選択できるようにすべきは、小学校で37.8パーセント、中学校で31.0パーセントでした。

小中ともに今のままでいいと支持する意見が、ほかの学年でも選択できるようにすべきという意見を上回りました。

次に17ページをご覧ください。

(3)今後小学校に入学予定の子どもの保護者に対するアンケート結果についてご説明いたします。

まず、問4江別市で学校選択制を導入していることを知っていましたかという問いに対して、知っていると回答した方は、75.0パーセントでした。

次に、問5ですが、問4で知っていると回答した方で、学校選択制の制度の内容を知っていますかという問いに対して、よく知っている、少し知っていると答えた方は、合わせて約60.8パーセントであり、江別市で学校選択制を導入していること、また、制度の内容を知っている方は、前回調査時の39.3パーセントから大きく増加しました。

次に、18ページをお開きください。

問6選択できる学年は、小学校中学校に入学する新1年生のみとしていますが、どう思いますかという問いに対して、今のままでいいと回答した方が最も多く、ほかの学年でも選択できるようにすべきという意見を上回りました。

次に、(2)選択できる学校の範囲は、校区と隣接する地域の学校(隣接校方式)としていますが、どう思いますかという問いに対して、今のままでいいという意見が市内全ての学校を選べた方がいいという意見を上回りました。

次に、21ページから23ページにかけてが、(4)学校選択制に関する学校アンケートとなりますが、選択できる学校の範囲についての問いに対しては、登下校の安全面で課題があることなどから選択できる範囲をさらに広げることに反対している意見が多い結果と

なりました。

また、選択できる学年についての問いに対しては、学級編成や校内体制に影響がでるなどの理由から、選択できる学年を広げることに反対している意見が多い結果となりました。

アンケートに関わる詳しい内容については、別冊の資料編に記載しているとおりでありますので、ご参照願います。

続きまして、平成29年度以降の学校選択制制度の方針についての資料をお開き願います。今回の検証結果を受けまして、平成29年度以降の学校選択制制度の方針について、記載のとおり実施してまいります。

まず、1つ目としまして、選択できる学校の範囲については、現行の隣接校方式を継続いたします。

今回の検証結果を見ますと、小中学生の保護者及び未就学の子どもの保護者、学校において隣接校方式を支持する意見が多数を占めていることから、今後も現行の隣接校方式を継続してまいります。

2つ目としまして、選択できる学年については、現行の小中学校の新1年生のみ対象とする取扱いを継続します。

今回の検証結果を見ますと、小中学生の保護者及び未就学の子どもの保護者、学校において、新1年生のみ対象とする取扱いを支持する意見が多数を占めていることから、今後も継続してまいります。

3つ目としまして、学校選択制の周知に関してですが、今回の調査では、前回検証時と比べて、学校選択制の導入やその制度内容についての認知度が、大きく増加する結果となりました。今後も継続して市民への周知を行っていくことが必要と考えます。

最後に、4つ目としまして、今後の学校選択制の検証についてですが、学校選択制を利用して入学した児童生徒やその保護者の多くは、入学した学校に高い満足感を持っています。しかしながら、様々な意見もあることから、今後も保護者等の意見を踏まえながら、学校選択制の在り方について、引き続き検証すべきと考えます。

なお、制度導入から12年が経過し、現行制度が広く市民に定着してきていることから、今後は5年毎に検証を行うことが妥当と考えております。

この方針につきましては、平成28年12月20日に開催しました通学区域審議会においてご協議していただきました。今後は、この方針に基づき学校選択制を実施してまいります。また、この内容につきましては、ホームページで周知してまいりたいと考えております。以上です。

ただいまの報告について質問等がありましたらお受けいたします。

大変細かい分析、お疲れさまです。全部この内容を読ませていただいて、何ページというわけではないのですが、資料の中で転動してきた方が知りませんでしたという意見が、4つ、5つありました。以前に確認した時には、転入者についてはその場で説明をして、その場、もしくは1日、2日の間に判断していただいているという回答をいただいた気がしますが、やはり知りませんでしたという意見が多かったということは、忙しい引越しの途中で聞き漏らしているのか、理解できなかったということもあるとは思いますが、伝える方法を少し検討していただいて、せつかくの良い制度なので、またそういう情報を知った上で、それを目指す厚別区などのお母さんたちの話も聞いていますので、プリント1枚でもいいですけれども、知らせる方法を少しご検討いただいた方が良いのではないかと思います。

もう一つですけれども、選択制でわが子が行っていた学校は、2割の子どもたちが学校選択制を利用して学校にきていました。良く聞いた話が、意見の中にもたくさんありましたが、集団下校の訓練の時に、全員お迎えにきてくださいということになっているということです。それは、学校によって取扱いが違うのでしょうか。資料でも意見が多かったので、少し気になったのと、2割というと、どこの分団よりも多い子どもたちが集まる分団になってしまうので、その子たち全員の親がとなると、せつかく良かれと思って選んでくれた学校でも、不便を感じているようなので、もう少し親の理解を得た上で、何か方法はないかと考えています。そこで、まず、学校独自の判断なのか、それとも全体的にそういうことになっているのかということ、教えていただければと思います。

学校選択制の転入者に対する周知につきましては、基本的には転入の受付窓口となります戸籍住民課の方で行っていただき、詳しい説明につきましては、学校教育課に問い合わせ

月田教育長
橋本委員

廣田学校教育
課長

廣田学校教育課長	<p>せていただくということにさせていただいております。</p> <p>集団下校に関しては、橋本委員おっしゃられたとおり、各学校での判断という形になります。校区内ですとそれぞれのコースに従って集団で帰ることができますが、その先、校区外になってきますと、ばらばらになってしまいますので、その辺はどうしても保護者のご協力をいただくというようなことも、やはり必要なかと思っておりますけれども、基本的には学校それぞれの事情で行っているところであります。</p>
月田教育長 郷委員	<p>ほかにございますか。</p> <p>先ほど橋本委員さんから言っていたように、転入者に関してはパンフレット等があったというお話がありましたが、アンケートを読むと説明会だとか、もう少し分かりやすいパンフレット等があると良いという意見が多く書かれている部分もあって、例えば学校選択制に関する全体的な説明会とか、もう少し見やすいパンフレット等を作成して説明会を行うというようなスケジュールは、教育委員会では設定することは可能なのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>保護者説明会につきましては、学校選択制の制度が平成17年度から始まっておりますけれども、始まった当初何年間かは、各学校に行って保護者説明会を開催しておりました。その後、参加人数が少なくなってきて、制度についてもある程度知れ渡ってきたということで、説明会の方につきましては廃止しております。</p>
月田教育長	<p>あと、住民票のある方につきましては、個別に通知を送っております。転入者については、転入手続きの際に届出連絡はしているところではありますけれども、そのほか、分かりやすくといったものについては、今後検討させていただきたいと思っております。</p>
月田教育長	<p>ほかにございますか。</p> <p>集団下校関係ですけれども、訓練集団下校は、通常、子どもたちの前と後ろに教師がつきます。ですから、2名ぐらいずつで行っていますので、大部分の先生が対応することとなるため、校区外のところまで先生がついて行くのは至難の業であり、ほとんどの学校は保護者に迎えにきてくださいということになっています。</p>
橋本委員	<p>具体的には、本当に道路一本で、こちらの学校の方が近いからとかいう理由で選んでくれている方が多い地域が限られています。</p> <p>それで、その地域の向かい側の子は集団下校できるけど、ここは迎えにいかなくやいけないという、ある程度離れている子とかはやむを得ないし、安全面で一人になる子とかはしょうがないと思いますが、どうも地理的に納得いかないみたいなどころがある学校なので、そこはいま話を聞いたら、学校の裁量だということなので、教育委員会で話をさせていただくことは可能でしょうか。</p>
月田教育長	<p>それは保護者の方々が、道路一本の違いでそうであれば、学校の方にきちんと行って、改善していただくというのが最善かと思えます。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
廣田学校教育課長	<p>次に報告事項(8)「平成29年度学校選択制にかかわる申請状況について」の報告を求めます。廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>報告事項(8)平成29年度学校選択制にかかる申請状況についてご報告いたします。</p> <p>学校選択制につきましては、平成29年度の小中学校入学予定者の保護者に対し、8月中旬に制度の案内や申請書等の書類一式を配布し、10月12日から1カ月間、選択希望の申請を受け付けました。その後、11月25日まで申込みの変更を受け付け、このたび結果がまとまりましたので、ご報告いたします。</p> <p>資料には、各小学校・中学校それぞれの校区内の入学者数、受入枠数、選択制の申請者数などを掲載しております。</p> <p>表の左側から4列目、②のところは該当校への入学希望者数で、その2つ右にあります③のところは該当校から他の学校を希望した人数です。</p> <p>表の一番右側の列、②の内訳は、どの校区から何人が該当校を選択したかを記載しております。一番上の江別第一小学校を例にとりますと、選択制の申請により江別第一小学校を希望した人数は②の4人で、その内訳は、豊幌小校区から1人、江別太小校区から1人、北光小校区から2人であり、③の7人が、他の学校を希望したということを表しています。</p> <p>また、表の左から2列目の①は、12月1日現在の校区内の入学者数で、選択制に伴う人数の増減を加味したものが、表の右側から三列目の①+②-③のところの新1年生の入</p>

<p>月田教育長 郷委員</p>	<p>学者数となっております。その人数を基に算出したクラス数の見込みが、表の右側から2列目の学級数となります。</p> <p>全体的な結果としましては、特認校制度を含めた申請者数は、小学校で62名、中学校で49名、合計111名となりました。</p> <p>入学予定者全体に占める割合は、小中学校全体で、5.86パーセントです。</p> <p>また、参考として表に掲載しました平成28年度の申請者数と比較しますと、小学校が4名の増、中学校が7名の減で、全体では3名の減となっております。</p> <p>各学校とも、申請者数が受入枠以内の人数であったため、申請者全員に対し、決定の通知を12月7日付けで出したところです。</p> <p>最終的な入学者数は、今後の転入・転居等の移動に伴う分を加えて、来年の4月1日付け学級編制により確定する予定です。以上です。</p> <p>ただいまの報告につきまして質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>先ほどの話の後に大変申し訳ありませんが、この見方によると、大麻東中校区の方が大麻中に14人ということですよ。</p> <p>これは、先ほどの話のとおり、そちらの中学校の方が近いとか、そういったことなのでしょう。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>基本的に、選択制の申請の時に、理由は問わないことになっております。</p> <p>先ほどの検証結果報告の中で、すでに選択制を使って入学した児童生徒保護者に対してアンケートを行っていますけれども、その結果から見ますと、委員おっしゃったとおり、校区の線引きの関係で、こちらの学校の方が近いというのがありますし、中学校の場合は、部活動で選ぶという場合も考えられます。</p> <p>この14名が、何で選んだかというのは分かりませんが、アンケート結果からはそういったことが推測されるところです。</p>
<p>橋本委員 郷委員</p>	<p>おそらく、大麻東中学校は、自転車通学がだめなので、混在している地域の人たちは、部活帰りとかは自転車の方が楽なので、大麻中学校を希望する方が多いです。</p> <p>そうなんですよ。14名って結構多いですよ。受け入れられる人数もあるから。分かりました。ありがとうございます。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p>
<p>月田教育長</p> <p>佐々木生涯学習課長</p> <p>月田教育長</p>	<p>次に報告事項(9)「平成29年江別市成人のつどいの開催について」の報告を求めます。佐々木生涯学習課長お願いいたします。</p> <p>平成29年成人のつどいの開催についてご説明いたします。</p> <p>報告事項(9)の資料をご覧ください。</p> <p>平成29年の成人のつどいにつきましては、年明けの1月8日、日曜日の午後2時から、市民会館で実施いたします。</p> <p>今回の対象者は、平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの方で、対象者数は男性が725名、女性が714名の計1,439名です。</p> <p>当日は、市長に出席をいただき、教育長同席のもと、来賓として、市議会議長、道議会議員にご臨席いただく予定です。</p> <p>今回も、成人者の代表者数名による実行委員会を設け、決意発表、アトラクションなどを予定しています。以上です。</p> <p>ただいまの報告に質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了いたします。</p> <p>(一同了承)</p>
<p>佐々木生涯学習課長</p>	<p>次に報告事項(10)「平成28年度小中学生国内交流研修事業受入について」の報告を求めます。佐々木生涯学習課長お願いいたします。</p> <p>小中学生国内交流研修事業受入についてご説明いたします。</p> <p>報告事項(10)の資料をご覧ください。</p> <p>1月17日から20日までの4日間の日程で、土佐市から小中学生の訪問団が江別に来る予定となっております。</p>

<p>月田教育長</p>	<p>江別滞在中の大まかな行動スケジュールは、小中学校での交流学習を中心とした学校生活の体験など、お手元の資料のとおりでありますので、ご覧いただきたいと存じます。</p> <p>資料2ページに、土佐からの参加者名簿を掲載しています。小学5年生が9名、中学2年生が2名、合計11名の小中学生と、引率の先生等が4名です。</p> <p>なお、訪問団の受入れ校は、記載の6校にお願いしております。以上です。</p> <p>ただいまの報告について質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了いたします。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>(2)平成28年議案第47号「江別市立学校における学校運営委員会の設置等に関する規則について」の説明を求めます。山崎総務課長お願いします。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>平成28年議案第47号江別市立学校における学校運営委員会の設置等に関する規則の制定についてをご説明いたします。</p> <p>1の制定理由であります。学校運営に関して、江別市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者、地域住民等の学校支援を通じた学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等との信頼関係を深め、児童生徒への願いを共有しながら一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むため、江別市立学校における学校運営委員会の設置等に関する規則を制定するものであります。</p> <p>2の制定規則は、10月の定例教育委員会において、ご説明いたしましたえつ型コミュニティ・スクールの骨子をもとに、2ページをご覧いただきたいと思いますが、このように規則を作成いたしました。</p> <p>具体的には、第4条で学校運営委員会を置く学校の指定及び設置について規定しております。指定の期間は4年とし、期間が満了する際に、特に指定を取り消すべき事由がない場合は、再度指定の申出があったものとみなすこととしております。</p> <p>次に、学校運営委員会の役割として、第5条に学校運営に関する基本的な方針の承認、第6条に学校運営等に関する意見の申出、第7条に学校運営等に関する評価及び情報提供、第8条に住居参画の促進等について規定しております。</p> <p>第9条の委員の任命では、委員の人数を10人以内とし、保護者や地域の住民、校長及び教職員、学校支援ボランティア、その他教育委員会が認める者のうちから、校長が推薦した者を教育委員会が任命することや、委員の身分を非常勤特別職とすることを規定しております。</p> <p>第10条では、委員の任期を2年とし、再任されることができるとしてしております。</p> <p>第11条の報酬では、委員の身分が非常勤特別職となることから、別途金額を定めることとしております。</p> <p>第14条から第16条では、会議の招集、開催や議決の条件、開催後の会議結果の報告、会議の公開などについて規定しております。</p> <p>なお、附則におきまして、施行日を平成29年4月1日とし、当該委員会の最初の会議は、校長が招集することとなっております。</p> <p>以上、ご説明申し上げましたので、ご承認くださいますようよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がありましたらお受けいたします。</p>
<p>月田教育長 林委員</p>	<p>昨日、たまたま第一小学校の方で学校評価者委員会があって、この話がでました。その中で、2ページにあります指定の期間4年について、地元の自治会長さんが、この委員になるようなケースも結構あると思うのですが、2年程度で代わったりすることもあるため、4年は長いという反応が多かったです。4年を変えてくれという意見ではありませんし、指定されて自治会長にそれが帰属するという訳ではないと思うのですが、自治会長を降りたから、こちらの委員も降りたいというタイミングの方もいるのではないかということが予想されます。そういったケースの場合には、辞退することは可能かどうかの確認です。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>学校運営委員会に関しましては、指定されることによって、その学校に学校運営委員会の設置が認められ、その指定の期間が4年ということになっております。それは第4条に書いておりますが、委員任期につきましては、3ページの中段から下、第10条にございます、委員の任期は2年ということにさせていただいております。</p> <p>こちらに関しましては、基本的には2年で考えていますけれども、再任することもでき</p>

<p>林委員 山崎総務課長 月田教育長 林委員</p>	<p>ますし、例えば、2年の期間に何かがあって、その後辞任されるということも当然あり得ると考えてございます。規則でも前任者の在任期間を任命すると規定しておりますので、その部分については2年のうちで適切に運営していただければと考えてございます。以上です。</p>
<p>山崎総務課長 月田教育長 支部委員</p>	<p>指定は4年だけれど、任期は2年ということですか。 任期は2年です。 この指定も取り消す理由がない場合は、運営委員はずっと続くという意味です。 ちなみに、私は、いま評議委員ですが、教育委員と重複することは望ましくありませんね。 正直に申し上げますと、教育委員の立場でいらっしゃいますので、なるべく重複しない方が望ましいかと思えます。よろしくお願いいたします。 ほかにございますか。 この規則の中にコミュニティ・スクールという言葉が一つも出てきませんが、何か意図があるのでしょうか。</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>いわゆるコミュニティ・スクール制度というのは、国の法律に基づき設置するものでありますが、これは呼称でありまして、法律上は学校運営協議会を設置している学校をいわゆるコミュニティ・スクールと呼ぶものであります。 ですから、市町村によってはコミュニティ・スクール委員会という名称を用いて、規則を制定し運用している市町村もございます。 江別市としては、えべつ型のコミュニティ・スクールをやる上で、いろいろ選択肢はありますけれども、学校運営委員会という呼称で委員会を作って進めていきたいと考えているところでございます。以上です。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>(質疑終了) それでは、平成28年議案第47号「江別市立学校における学校運営委員会の設置等に関する規則について」を承認することにご異議ありませんか。 (一同了承)</p>
<p>山崎総務課長</p>	<p>それでは、そのように承認いたします。 次に(3)平成28年議案第48号「平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について」の説明を求めます。山崎総務課長お願いいたします。 平成28年議案第48号平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてご説明いたします。 報告書の中をお開きいただき、「はじめに」をご覧いただきたいと思えます。 この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検と評価を行い、議会に提出し、公表しようとするものであります。 1ページをご覧いただきたいと思えます。 まず、第1章の点検及び評価についてですが、本報告書の作成に当たっての基本的事項についてのご説明でございます。 点検及び評価の対象となりますのは、平成27年度に実施した事務事業等を対象としており、点検及び評価の手法と方針につきましては、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、今後の改善を図ろうとするものであります。 また、学識経験者等の知見の活用につきましては、平成24年度から導入した手法で独自の外部評価を行い、3回の会議で外部評価委員に意見を伺いました。 2ページをお開きいただきたいと思えます 第2章の教育委員会の活動状況に関する点検及び評価であります。9項目にわたり記載しております。 はじめに、教育委員会委員の氏名や会議の開催状況等が記載されており、3ページから9ページまでは会議の具体的な件名を、10ページでは審議等の状況を記載しております。 11ページは、条例・規則等の制定、計画等の策定状況となっております。 12ページは、教育委員会委員の活動状況を、13ページは、教育委員会に設置されております各種審議会等の状況を記載しております。 14ページからは、平成27年度予算の状況について記載しております。 平成27年度の当市の政策は、第6次総合計画に基づき9つの政策と、その下に位置付</p>

	<p>けられる96の取組の基本方針から構成されており、教育委員会所管は、政策06子育て・教育、政策07生涯学習・文化、政策08協働の3つが該当するものであり、この政策の下に位置付けられる取組の基本方針別の主な事業の取組内容を15ページから17ページにかけて記載しております。</p> <p>18ページと19ページは、行政改革の取組についての記載であります。</p> <p>20ページから27ページまでは、青少年文化賞・スポーツ賞や文化・スポーツの奨励賞、さらには教育委員会表彰を受賞された個人や団体を記載しております。</p> <p>28ページは、学校適正配置の取組についての記載であります。</p> <p>29ページ以降は、第3章の教育に関する事業の点検及び評価についての記載であります。</p> <p>点検・評価は、総合計画に基づく事務事業を単位として行いますが、事業総数が多く、一度にすべての事業の点検・評価を行うことが難しいため、平成26年度から5か年で全体を一巡するよう、計画的に外部評価委員による点検・評価を実施することとしております。</p> <p>今回は、学校教育部門から政策06子育て・教育の17事業と、社会教育部門から政策07生涯学習・文化の7事業の全24事業を対象としております。</p> <p>30ページは対象事業の一覧で、これらの事業の概要を所管課長等から説明し、外部評価委員からご意見やご指摘などをいただきました。</p> <p>31ページから78ページにかけましては、事業ごとの事務事業評価表を添付しております。</p> <p>79ページから最終ページまでは、外部評価委員からいただいた意見を掲載しております。</p> <p>なお、今後の予定であります。江別市議会の正副議長と総務文教常任委員会委員へ本報告書を配付するとともに、情報公開コーナー等で閲覧できるようにするほか、教育委員会のホームページにも掲載するなど、広く市民周知を図るものであります。</p> <p>以上、ご説明申し上げましたので、よろしくご審議願いたいと思います。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がありましたらお受けいたします。</p>
月田教育長	<p>31ページからの評価版については、何か特徴的なものはありますか。</p>
山崎総務課長	<p>先ほど申し上げましたが、26年度からは5年間で一巡するように教育委員会の事業を主管別に回して評価していただいている状況であります。</p> <p>評価等につきましては、学校教育課と図書館から課長等にきていただき、評価いただいておりますが、それについては79ページ以降に書いてあります。そのような形でございます。</p>
郷委員	<p>学校図書事業の件で伺いたいのですが、79ページの学識経験者の意見というところに書いてありました学校図書に関することですが、こういう意見を踏まえて次年度から司書の巡回に関して、何か改善策は考えているのでしょうか。</p>
山岸情報図書館長	<p>現在、定期的に各学校を3名の司書で対応させていただいております。3名で年間全部の学校を回るということは、なかなか難しく、また、一律にサイクルを短くするというのも、もう少し長くしてほしいという学校側の希望もございまして、難しい状況でございます。今まで、学校を回ってきて、状況はかなり改善されているところもございまして、学校の状況に応じて、回り方を減らすことができないだろうかということで、今、担当司書と相談させていただいているところでございます。</p> <p>なるべく多く回れば一番良いと思っておりますが、人員に限界があるので、何か工夫ができないかと、いろいろと考えております。以上です。</p>
月田教育長	<p>ほかにございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、平成28年議案第48号「平成27年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について」を承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
萬教育部次長	<p>次に(4)平成28年議案第49号「平成29年度江別市一般会計教育予算要求案について」の説明を求めます。萬教育部次長お願いいたします。</p> <p>平成28年議案第49号平成29年度江別市一般会計教育予算要求案について、ご説明</p>

<p>萬教育部次長</p>	<p>いたします。</p> <p>この議案は、いわゆる地方教育行政法に基づき、教育予算に関して教育委員会のご意見をいただくものであります。</p> <p>1 ページに記載の平成28年度、昨年度の当初予算額は、44億9,662万3,000円ですが、平成29年度要求額は、36億50万8,000円となっており、昨年度と比較して、8億9,611万5,000円の減となっております。</p> <p>これは、統合校の新築工事等の大型建設工事が、今年度をもって完了したこと等によるものであります。</p> <p>教育委員会にお諮りするのには、10月定例教育委員会での予算編成の基本方針説明から数えて今回で3回目となりますが、現在、予算査定作業中であり、今後変更はあろうかと存じます。</p> <p>2 ページ以降は、教育予算要求案の総括表と主要事業の一覧となっております。前回ご説明いたしました要求方針に基づき、要求したものであり、その内容から大きな変更点はありませんので、各所管からの説明は省略させていただきます。以上、説明申し上げますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成28年議案第49号「平成29年度江別市一般会計教育予算要求案について」を承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に(5)平成28年議案第50号「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への掲載同意について」の説明を求めます。廣田学校教育課長お願いいたします。</p>
<p>廣田学校教育課長</p>	<p>議案第50号平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載同意についてご説明いたします。</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、毎年、実施要領に基づき、小学5年生と中学2年生を対象に、実技に関する調査として、握力、上体起こし、長座体前屈等の計8種目を行うほか、児童生徒および学校に対する質問紙調査を実施しております。</p> <p>平成26年度から、都道府県教育委員会が、市町村教育委員会の同意を得た場合に、市町村名又は学校名を明らかにした公表を行うことが可能になったことを受けまして、平成27年度の調査結果については、昨年12月の定例教育委員会においてご承認をいただき、北海道教育委員会が作成した市町村名を明らかにした報告書において、江別市の結果が公表されております。</p> <p>まず、1の同意内容につきましては、北海道教育委員会が、一層きめ細かくわかりやすい調査結果を示す観点から、市町村名を明らかにした資料により、江別市の児童生徒の体力合計点や各種目別のレーダーチャート、分析結果や改善方策等を掲載し、公表することについて、同意を求めているものです。</p> <p>2の同意理由につきましては、江別市教育委員会といたしましては、調査の結果を様々な角度から一定の数値により分かりやすく公表することにより、学校・家庭・地域・行政が地域の体力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の体力向上に取り組むことが重要であることから、北海道教育委員会の公表依頼に同意したいと考えるものです。</p> <p>具体的な公表の内容につきましては、資料の2ページ以降に、例が示されておりますのでご覧ください。各市町村につき、小学校分1枚・中学校分1枚それぞれ作成するもので、昨年と同様の考え方による公表となります。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。以上です。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がありましたらお受けいたします。</p> <p>昨年と同様というようなことで、よろしいですね。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成28年議案第50号「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査『北海道版結果報告書』への掲載同意について」を承認することといたします。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p>

月田教育長	次回定例教育委員会予定案件及び日程について、説明をお願いいたします。山崎総務課長お願いいたします。
山崎総務課長	次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、「平成29年成人のつどいの出席状況について」などを予定しているものでございます。また、次回定例教育委員会の日程でございますが、1月25日水曜日午後2時30分からと考えてございますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。
月田教育長	<p>よろしいですね。 (一同了承) ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は1月25日水曜日午後2時30分からということで、皆様よろしくお願いいたします。 以上をもちまして、第12回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)</p>

終了 午後4時30分

署名人（教育長） 月田 健二

署 名 人 郷 早見